

患者の皆様へ

2020年3月1日

千葉大学医学部附属病院 血液内科

現在、血液内科では、「骨髄異形成症候群に対する同種移植の予後予測研究」に関する研究を行っています。この研究では今後の治療に役立てることを目的に、骨髄異形成症候群(慢性骨髄単球性白血病や骨髄異形成症候群／骨髄増殖性腫瘍を含む)と診断され、2011年1月から2020年7月に当院で初回同種移植を受けた患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「骨髄異形成症候群に対する同種移植の予後予測研究」

2. 研究の意義・目的

本研究は、関東造血細胞共同研究グループ(KSGCT)による多施設共同後方視的観察研究として、骨髄異形成症候群(MDS)に対する同種移植の予後予測モデルを構築することを目的とする。調査表およびKSGCTデータを用いて移植前治療、移植前検査、移植レジメンといった包括的な臨床情報を収集し、解析する。多変量解析により予後予測因子を抽出し、予後予測モデルの構築を目的としています。

3. 研究の方法

調査表を用いて移植前治療、移植前検査といった骨髄異形成症候群に関連する診療情報を収集する。関東造血幹細胞移植共同研究グループ(KSGCT)移植レジストリデータと統合し、移植成績に影響する予後予測因子を抽出する。これらを元に予後予測モデルを構築する。また、腫瘍マーカーであるWT1値も収集し、移植成績に関する解析を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学、血液研究室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究機関

関東造血幹細胞移植共同研究グループ（KSGCT）に参加する研究者が共同して関東造血幹細胞移植共同研究グループ（KSGCT）のデータを用いて行う研究です。神奈川県立がんセンター 血液腫瘍内科、千葉大学医学部附属病院 血液内科、横浜市立大学 臨床統計学教室の担当者が解析用データの作成と統計解析を行います。

6. 研究期間

研究実施期間は、倫理委員会によって実施が承認された日から2025年12月31日までです。

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 血液内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院血液内科

診療教授 堺田 恵美子

043 (222) 7171 内線 5259

研究代表機関 : 神奈川県立がんセンター 血液腫瘍内科

所在地 : 横浜市旭区中尾 2-3-2

電話番号 : 045-520-2222

研究代表者 : 立花 崇孝